



次年度の児童会活動へ向けて！



～児童会役員選挙～

11月14日（木）から始まりました選挙運動でしたが、26日（火）の立会演説会と投票で令和2年度の児童会長と副会長2名が決定しました。今回の児童会選挙の取り組みを行っていくにあたっては、10月下旬から3年生以上の選挙管理委員会の皆さんが計画に当たって、休み時間を使って準備を進めてきました。特にロング休み（中休みや昼休み）に自分がしたいことや遊びたい気持ちもあったでしょうが、児童会役員選挙の運営がスムーズになされたのは、選挙管理委員会の皆さんのおかげです。

さて、今回の児童会役員選挙では候補者と責任者、推薦者で熱心に選挙活動を行って当選を目指しました。26日に行われました立会演説会では、候補者と責任者の9名ずつが北小のリーダーを目指すに相応しい大変立派な態度で演説順を待ったり、堂々とした態度で演説を行ったりしました。責任者の応援演説では、候補者の人柄や学校生活でのエピソードを熱く語ってくれました。候補者の演説では、自分の公約と決意を力強く訴えることができました。

選挙ですので、当然、結果として当選した・当選しないがあります。ですので、喜びや悔しさもあることでしょう。しかし、北小を更に良くしていこうと決意して勇気をふりしほり立候補した気持ちはみんな同じです。3学期の「6年生を送る会」からが新児童会本部のスタートになります。候補者の皆さんには、この児童会選挙で取り組んできた強い気持ちで新児童会本部のスタートを切ってほしいと思います。



立候補者と責任者の力強い演説



会長1名、4・5年副会長各1名ずつを決める投票



第5回拡大校内研究会



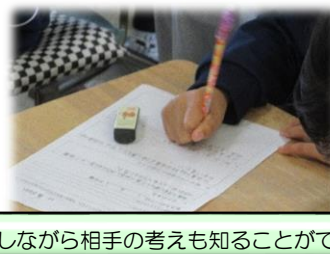
11月27日（水）に今年度最後の拡大校内研究会が実施されました。今回は5年生社会科「これからの食料生産」で小倉教諭が対話的な学習活動の一手法として、「ディベカッション（ディベート+ディスカッション）」を取り入れた授業展開でした。前時には、おやじの会の生山さん（前教育長）から兼業農家の立場で、地産地消についての指導を受けての本時でしたので、子どもたちは自分の立場をはっきりした上で、ディベカッションに臨んでいました。HPにも授業中の多くの画像がアップされていますので、ぜひご覧ください。



おやじの会の生山さんによる授業



自分の考えを明らかにしながら相手の考えも知ることができるディベカッション



授業後の研究会

心がけたい子どもへの日常の声かけ

～「心配」する言葉よりも「信頼」する言葉～

これまでの教育講演会で子育てにかかわる多くの話を聞いてきました。そのほとんどは、時と共に記憶が薄れていくのですが、あるときの話で1つだけはっきりと覚えているフレーズがあります。それは、「子育ては、先導者から伴走者、そして沿道から声援を送る1ファンへ！」です。これは、我が子と親の距離感を表現したものです。今こちらを読んでいる保護者の皆様は、子育て真最中で、まだまだ1ファンになっている余裕はないことでしょう。我が子の先導者もしくは伴走者の日々だと思います。そんな保護者の皆様に、お子さんへの声かけのことで今日は書いてみます。



「コーチング」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。「コーチング」は自分とコミュニケーションをとったあとの相手が、「やってみよう！」という気持ちになって行動し、成果を上げることをサポートします。思考癖が、「やりたくない」「どうせできない」「つまんない」「めんどくさい」になっていると、なかなか、「おもしろそう」「やってみたい」「できるかも」「やってみよう！」とはなりません。

私の母は非常に心配症でした。新しいことをやる時には、必ず、「大丈夫？ できる？」と聞いてきました。うまくできなかつたら、「ほらやっぱり、そんなに簡単にいかないんだから」となぐさめ(?)、「次もうまくいかなかつたら、どうするの？」と明るくない未来をイメージさせました。少しでも咳きこもうものなら、「風邪？ 今日はやめたら」と用心させるタイプです。私を大事に思ってくれたからこそと思いますが、おかげで、「失敗はしてはいけない」「簡単に目標は達成できない」という枠を、コーチングに出会うまでの長い間、持ち続けたように思います。一方で、自分のやりたいことにどんどんチャレンジし、自己肯定感を持って生きている人の保護者は、往々にしておおらかな人が多いように感じます。

「大丈夫！ あなたならできる」「やってみないとわからないね。できるからやってごらん！」「うまくいって、信じているよ！」

そんな声かけが、どれだけ相手を前に向かわせるでしょう。子どもには、「心配」する言葉よりも、「信頼」する言葉をたくさんかけてあげたいものです。子どもへの信頼こそが、前向き思考の子どもを育てるベースではないでしょうか。

サイレントクリーニングの取り組みを終えて

児童会の取り組みとしてサイレントクリーニングを行ってきました。子どもたちは児童会のめあてを守ろうと一生懸命に取り組んでいました。静かに清掃していますと不思議なことに、気持ちが清掃に集中していきます。そうすると、掃き掃除もふき掃除も丁寧さに一段と磨きがかかります。それが、自分たちが美しい環境で生活できることにつながっていきます。立会演説会で、ある候補者の公約ではサイレントクリーニングにふれていました。子どもたちの心のどこかに、静かに掃除することの良さが残っていてほしいと思います。

サイレントクリーニングを人々もめさもう!

① 無言でどうしができていますか？

② 自分の頭で考えてどうしができていますか？

静かに清掃をする2年生

個別懇談、よろしくお願いします。

5日(木)から11日(水)まで個別懇談になります。日頃は、なかなかまとまった時間の中で担任と保護者が、お子さんのことで話をする時間をとることができません。学校でのお子さんの姿をお伝えしたり、学校では分からない家庭でのお子さんの様子を伺ったりしながら、子どもたちを素直に優しく、そして前向きに育てていきたいと考えています。担任と話したいことがありましたら、事前にお考えおきください。よろしくお願いいたします。

児童会の取り組み 感謝の実より

先月19日(火)のそうじの後、中庭の出しっ放しになっていた水道の水を、校舎の中にいた〇〇さんが下級生に水を止めてくれるようお願いしてくれてありがとう。おかげで、水がむだにならずにすみました。ありがとう。



